

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原ビジネス公務員専門学校広島校
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	税理士会計士学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ビジネス学科	夜・通信	420 時間	160 時間	
	医療事務学科	夜・通信	450 時間	160 時間	
文化教養 専門課程	公務員学科 (2年制)	夜・通信	170 時間	160 時間	
	公務員学科 (1年制)	夜・通信	95 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原ビジネス公務員専門学校広島校
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	現職：司法書士事務所所長	2019.4.1～ 2023.3.31	法人運営における法務的な検証管理
非常勤	現職：Webデザイン・システム開発・印刷関連企業代表	2019.4.1～ 2023.3.31	学生募集、教材開発への助言
非常勤	前職：不動産関連企業代表	2019.4.1～ 2023.3.31	校舎等学習環境の整備への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原ビジネス公務員専門学校広島校
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。</p> <p>(1) 授業の基本情報(授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数)</p> <p>(2) 授業概要</p> <p>(3) 授業の進め方</p> <p>(4) 達成目標</p> <p>(5) 教科書</p> <p>(6) 授業計画</p> <p>(7) 成績評価方法</p> <p>授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月に作成を開始し、3月下旬にホームページにて公表する。</p>																						
授業計画書の公表方法	https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/																					
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(1) 学業成績 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。</p> <p>(2) 学業成績の判定 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。 判定は校長及び教務管理者において厳正に審議する。 学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定</th> <th>評価点</th> <th>成績評価</th> <th>成績証明書表記</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>100点～90点</td> <td>秀</td> <td>秀</td> </tr> <tr> <td>89点～80点</td> <td>優</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>不合格</td> <td>60点未満</td> <td>不可</td> <td>非表示</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 単位の授与 授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。</p> <p>(4) 学生への明示 学業成績及び学業成績の判定については、オリエンテーション等で学生に明示する。</p>		判定	評価点	成績評価	成績証明書表記	合格	100点～90点	秀	秀	89点～80点	優	優	79点～70点	良	良	69点～60点	可	可	不合格	60点未満	不可	非表示
判定	評価点	成績評価	成績証明書表記																			
合格	100点～90点	秀	秀																			
	89点～80点	優	優																			
	79点～70点	良	良																			
	69点～60点	可	可																			
不合格	60点未満	不可	非表示																			

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(1) 指標

本学では、成績評価における客観的な指標として、GPA制度 (Grade Point Average) を採用する。

(2) GPA制度

履修した科目の成績評価を、GP (Grade Point) に置き換えて単位数を掛け、その合計を履修単位数の合計で割って 1 単位当たりの平均点を算出したものである。これにより、学生個々の成績を客観的にモニターし、的確な助言や指導ができるようになる。GPAによって学修成果を学生自身が把握できるだけでなく、成績優秀者などの選考にも利用できる。

(3) 成績評価とGP

授業科目の成績は、下記の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下記のとおりGPを与える。

成績評価	GP	評価点	内容
秀	4	100点～90点	学習目標をほぼ完全に達成している
優	3	89点～80点	学習目標を十分に達成している
良	2	79点～70点	学習目標を十分に達成しているが、不十分な点がある
可	1	69点～60点	学習目標の最低限は達成している
不可	0	60点未満	学習目標の最低限を達成していない
認定	—	—	対象外 ※1

※1 他学科、他大学の大学等で単位修得した科目はGPAには算入しない。

(4) GPA算出方法

$$GPA = \frac{\text{(科目の単位数} \times \text{当該科目で付与された GP) の合計}}{\text{履修科目の単位数の合計}}$$

※小数点第2位を四捨五入する

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定は、下記の表のとおり学科ごとに規定する修業年限以上在学し、学科ごとに定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について 校長が行う。

学科	修業年限	授業時間数	単位数
税理士会計士学科	2年	1,700時間以上	62単位以上
ビジネス学科	2年	1,700時間以上	62単位以上
医療事務学科	2年	1,700時間以上	62単位以上
公務員学科(2年制)	2年	1,700時間以上	62単位以上
公務員学科(1年制)	1年	800時間以上	30単位

本校では、学則の教育目的として簿記、税務、医療事務、法律、行政並びにこれらのビジネスに関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な産業人を育成することを掲げている。簿記、会計、医療事務、法律、ビジネスに関する専門的な知識、技能を養成するとともに、社会人として求められる基礎力、思考、言動についてもバランスよく身につけた人材を育成すること、また、社会全体、各産業界における課題を見つけ出し、自らもその一員としての自覚を持ち貢献できる人材を育成することを目的として指導に当たっていく。

ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定める。

- ① 社会で守るべき倫理や責任を理解している。
- ② 各学科の教育課程に示す専門的な知識、技能を身につけている。
- ③ 教育課程に示す知識・技能を身につけるために自ら学ぶ姿勢を身につけている。
- ④ 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身につけている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原ビジネス公務員専門学校広島校
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
財産目録	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
事業報告書	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(A) 税理士会計士学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	税理士会計士学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 <small>単位時間</small> /単位	3,780 <small>単位時間</small> /単位	1,350 <small>単位時間</small> /単位	<small>単位時間</small> /単位	<small>単位時間</small> /単位	
			5,130 <small>単位時間</small> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		15人	—人	2人	1人	3人	

※2021年度採用予定者1名含む

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。

(1) 授業の基本情報（授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法
授業時間/単位、授業コマ数）

(2) 授業概要

(3) 授業の進め方

(4) 達成目標

(5) 教科書

(6) 授業計画

(7) 成績評価方法

授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月に作成を開始し、3月下旬にホームページにて公表する。

成績評価の基準・方法

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(1) 学業成績

学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。

(2) 学業成績の判定

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。

判定は校長及び教務管理者において厳正に審議する。

学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。

判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	100点～90点	秀	秀
	89点～80点	優	優
	79点～70点	良	良
	69点～60点	可	可
不合格	60点未満	不可	非表示

(3) 単位の授与

授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。

(4) 学生への明示

学業成績及び学業成績の判定については、学則を始めとして、オリエンテーション等で学生に明示する。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。

修業年限	授業時間数	単位数
2年	1,700時間以上	62単位以上

※修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。

(2) 進級の認定は、下記の表のとおり学科の1年次において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、2月に実施する進級判定委員会にて審査を行う。

年次	授業時間数	単位数	備考
1年	800時間以上	30単位以上	出席状況等の学習姿勢も考慮

税理士会計士学科のディプロマポリシー

ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定める。

- ① 税務、経営、会計、経済の広い視野を有している。
- ② 企業経営についての理解・分析力を身に付けている。
- ③ 税務・会計上の諸問題を把握することができる。

学修支援等
<p>(概要)</p> <p>(1) 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。</p> <p>(2) 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。</p> <p>(3) クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育成する。</p> <p>(4) 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ※2021年度開校のため、実績なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。</p>		

(B) ビジネス学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	ビジネス学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 $\frac{\text{単位時間}}{\text{単位}}$	900 $\frac{\text{単位時間}}{\text{単位}}$	780 $\frac{\text{単位時間}}{\text{単位}}$	120 $\frac{\text{単位時間}}{\text{単位}}$		
			1,800 $\frac{\text{単位時間}}{\text{単位}}$				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	18人	一人	3人	1人	4人		

※2021年度採用予定者2名含む

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。

- (1) 授業の基本情報（授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数）
- (2) 授業概要
- (3) 授業の進め方
- (4) 達成目標
- (5) 教科書
- (6) 授業計画
- (7) 成績評価方法
授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月に作成を開始し、3月下旬にホームページにて公表する。

成績評価の基準・方法

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

- (1) 学業成績
学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。
- (2) 学業成績の判定
学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。
判定は校長及び教務管理者において厳正に審議する。
学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。

判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	100点～90点	秀	秀
	89点～80点	優	優
	79点～70点	良	良
	69点～60点	可	可
不合格	60点未満	不可	非表示

- (3) 単位の授与
授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。
- (4) 学生への明示
学業成績及び学業成績の判定については、学則を始めとして、オリエンテーション等で学生に明示する。

卒業・進級の認定基準

(概要)

- (1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。

修業年限	授業時間数	単位数
2年	1,700時間以上	62単位以上

※修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。

- (2) 進級の認定は、下記の表のとおり学科の1年次において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、2月に実施する進級判定委員会にて審査を行う。

年次	授業時間数	単位数	備考
1年	800時間以上	30単位以上	出席状況等の学習姿勢も考慮

ビジネス学科のディプロマポリシー

ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定める。

- ① 経営、経済、流通の広い視野を有している。
- ② オフィスワーク・経理業務についての理解・基礎能力を身に付けている。
- ③ 実社会で求められるマナーやコミュニケーション能力を有している。

学修支援等

(概要)

- (1) 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。
- (2) 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。
- (3) クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育成する。
- (4) 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ※2021年度開校のため、実績なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。		

(C) 医療事務学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務分野	専門課程	医療事務学科	—	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間 /単位	510 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,230 単位時間 /単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	11人	一人	2人	1人	3人		

※2021年度採用予定者1名含む

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。

- (1) 授業の基本情報（授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数）
- (2) 授業概要
- (3) 授業の進め方
- (4) 達成目標
- (5) 教科書
- (6) 授業計画
- (7) 成績評価方法
授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月に作成を開始し、3月下旬にホームページにて公表する。

成績評価の基準・方法

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

- (1) 学業成績
学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。
- (2) 学業成績の判定
学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。
判定は校長及び教務管理者において厳正に審議する。
学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。

判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	100点～90点	秀	秀
	89点～80点	優	優
	79点～70点	良	良
	69点～60点	可	可
不合格	60点未満	不可	非表示

- (3) 単位の授与
授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。
- (4) 学生への明示
学業成績及び学業成績の判定については、学則を始めとして、オリエンテーション等で学生に明示する。

卒業・進級の認定基準

(概要)

- (1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。

修業年限	授業時間数	単位数
2年	1,700時間以上	62単位以上

※修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。

- (2) 進級の認定は、下記の表のとおり学科の1年次において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、2月に実施する進級判定委員会にて審査を行う。

年次	授業時間数	単位数	備考
1年	800時間以上	30単位以上	出席状況等の学習姿勢も考慮

医療事務学科のディプロマポリシー

ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定める。

- ① 医療事務・医療秘書、医療業界の広い視野を有している。
- ② 医療機関における事務・秘書業務の理解・基礎能力を身に付けている。
- ③ 実務で求められるマナーやコミュニケーション能力を有している。

学修支援等

(概要)

- (1) 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。
- (2) 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。
- (3) クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育成する。
- (4) 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ※2021年度開校のため、実績なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。		

(D) 公務員学科 (2年制)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		専門課程	公務員学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間 /単位	552 単位時間 /単位	824 単位時間 /単位	90 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,466 単位時間 /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		51人	一人	4人	0人	4人	

※2021年度採用予定者2名含む

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。

- (1) 授業の基本情報 (授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数)
- (2) 授業概要
- (3) 授業の進め方
- (4) 達成目標
- (5) 教科書
- (6) 授業計画
- (7) 成績評価方法
授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月に作成を開始し、3月下旬にホームページにて公表する。

成績評価の基準・方法

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- (1) 学業成績
学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。
- (2) 学業成績の判定
学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。
判定は校長及び教務管理者において厳正に審議する。
学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。

判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	100点～90点	秀	秀
	89点～80点	優	優
	79点～70点	良	良
	69点～60点	可	可
不合格	60点未満	不可	非表示

- (3) 単位の授与
授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。
- (4) 学生への明示
学業成績及び学業成績の判定については、学則を始めとして、オリエンテーション等で学生に明示する。

卒業・進級の認定基準

(概要)

- (1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。

修業年限	授業時間数	単位数
2年	1,700時間以上	62単位以上

※修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。

- (2) 進級の認定は、下記の表のとおり学科の1年次において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、2月に実施する進級判定委員会にて審査を行う。

年次	授業時間数	単位数	備考
1年	800時間以上	30単位以上	出席状況等の学習姿勢も考慮

公務員学科(2年制)のディプロマポリシー

ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定める。

- ① 公務員採用試験の出題範囲に対応した基礎知識を有している。
- ② 公共サービスに必要な基礎的な能力を広く身に付けている。
- ③ 社会に求められるマナーやコミュニケーション能力を有している。

学修支援等

(概要)

- (1) 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。
- (2) 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。
- (3) クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育成する。
- (4) 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考)(任意記載事項) ※2021年度開校のため、実績なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。		

(E) 公務員学科 (1 年制)

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養分野	専門課程	公務員学科	—	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	800 単位時間 /単位	319 単位時間 /単位	1,177 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,616 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人	5 人	— 人	2 人	0 人	2 人		

※2021 年度採用予定者 1 名含む

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

以下の事項について、毎年 12 月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。

- (1) 授業の基本情報 (授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法
授業時間/単位、授業コマ数)
- (2) 授業概要
- (3) 授業の進め方
- (4) 達成目標
- (5) 教科書
- (6) 授業計画
- (7) 成績評価方法

授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て 1 月に作成を開始し、
3 月下旬にホームページにて公表する。

成績評価の基準・方法

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(1) 学業成績

学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。

(2) 学業成績の判定

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の 5 種をもってこれを表し、秀は 90 点以上、優は 80 点以上、良は 70 点以上、可は 60 点以上、不可は 60 点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。

判定は校長及び教務管理者において厳正に審議する。

学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。

判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	100 点～90 点	秀	秀
	89 点～80 点	優	優
	79 点～70 点	良	良
	69 点～60 点	可	可
不合格	60 点未満	不可	非表示

(3) 単位の授与

授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。

(4) 学生への明示

学業成績及び学業成績の判定については、学則を始めとして、オリエンテーション等で学生に明示する。

卒業・進級の認定基準		
(概要)		
(1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。		
修業年限	授業時間数	単位数
1年	800時間以上	30単位以上
※修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。		
公務員学科（1年制）のディプロマポリシー ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定める。		
① 公務員採用試験の出題範囲に対応した基礎知識を有している。		
② 公共サービスに必要な基礎的な能力を身に付けている		
③ 社会に求められるコミュニケーション能力を有している。		
学修支援等		
(概要)		
(1) 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。		
(2) 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。		
(3) クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育成する。		
(4) 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ※2021年度開校のため、実績なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
税理士会計士学科	200,000 円	680,000 円	360,000 円	その他の内訳 (全学科共通) 教材費 (80,000 円) 維持費 (120,000 円) 実習・演習費 (160,000 円)
ビジネス学科	200,000 円	680,000 円	360,000 円	
医療事務学科	200,000 円	680,000 円	360,000 円	
公務員学科 (2 年制)	200,000 円	680,000 円	360,000 円	
公務員学科 (1 年制)	200,000 円	680,000 円	360,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
学費支援制度：以下に該当する者に対して、入学金・授業料の全額又は一部免除の実施。 ・特別奨学生試験 (面接又は筆記試験) での成績優秀者 ・本学指定の資格取得者 ・本学指定のクラブ在籍者 ・本学主催のコンクールでの成績優秀者				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2022 年度末までに評価を確実に公表する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
当校の教育理念に基づき実践的な教育ができているか、教育を実現するために必要な環境が整っているかにつき、学校関係者評価委員を設置して下記評価項目 (案) から評価する。委員より評価いただき、結果をホームページで公表する。課題の残る評価結果については、管理職主導で改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。 評価委員の構成 定員数：5 名 委員の選出区分：高等学校関係者 1 名、企業関係者 2 名、卒業生 (系列校) 1 名、保護者 1 名		
評価項目 (案)		
(1) 理念・目的・育成人材像	(2) 学校運営	
(3) 教育活動	(4) 学修成果	
(5) 学生支援	(6) 教育環境	
(7) 学生募集	(8) 財務	
(9) 法令等の遵守	(10) 社会・地域貢献	
学校関係者評価の委員		
2022 年度末までにその結果を公表するために委員の選任を行う。		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2022 年度末までに評価を確実に公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
--